



KAMIYAMA
Seconds!

2025年8月20日掲載

日経平均は上がり過ぎか？

連日高値更新の日経平均株価にちょっとついていけないとの声が聞こえてきます。この動きは、4つほどの要因に基づくもので、どの理由も適切で長期的に正当化される可能性が高いとみています。

一番新しく重要な上昇要因は、リーマン・ショック以降見たことのなかった国内消費回復と金利上昇の期待です。新高値の原因となる日本経済大転換の期待です。日銀の利上げ期待は銀行の収益改善期待につながります。

次に、米国では、米連邦準備理事会(FRB)の利下げが消費や住宅投資を下支えするとの期待が高まっています。このところインフレ指標は落ち着いており利下げを正当化できそうです。関税の悪影響は限定的で、8月下旬にもパウエル議長が利下げを示唆するか注目されます。

そして、株価指数への影響が大きい半導体関連銘柄の利益の回復と成長の期待が高まっています。関連企業の収益環境は良好で、AI関連の投資は、半導体やデータセンターなど関連産業の投資を刺激しています。

また、関税の影響が日本でそれほど小さくさそうとの期待が高まっています。関税率は上昇しますが、企業努力でカバーできそうな程度とみられています。

それぞれ期待が先行しているのは確かですが、期待が実現する可能性が高い要因が多いとみています。日本でインフレが落ち着かず消費が回復しないリスクや、関税の影響が遅れて現れ米利下げが遠のいたり日本企業の苦境が鮮明になったりするリスクは残っていますが、長期的には期待が実現する可能性が高いものが多いとみています。

(日興アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト 神山 直樹)

※2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社はアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。

《本資料は執筆者の見解を記したものであり、当社としての見通しとは必ずしも一致しません。本資料のデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》